

## 報告 1：未来へつなげるバス路線最適化実証事業の概要について

## ( 1 ) 実施主体

福井市地域生活交通活性化会議（事務局：地域交通課）

【構成メンバー】福井大学教授、市自治会連合会、各交通事業者など 20 団体  
22 名

## ( 2 ) 事業目的

運転士不足による路線バスの減便、廃止が実施される中、市民等の移動手段の維持確保をしていく必要がある。そのため、バス路線の統廃合や見直しなど運行の最適化を検討し、コスト削減や利便性向上を図る。

## ( 3 ) 事業内容

以下の事業について、国の「共創モデル実証運行事業」補助金を活用し、実施していく。

市民アンケート調査

- ・市民の公共交通満足度や移動範囲などの実態を把握する

現況分析及び再編案検討

- ・福井市やバス事業者が保有する路線バス・地域コミュニティバス・地域バス・乗合タクシー等の乗降データ、路線・系統データ、ダイヤデータ、停留所データ及び人流データ等を統合した現況分析を行う。
- ・分析を実施した上で、市内のバス交通における課題を整理し可視化するとともに、福井市に最適なバス再編案について、検討する。

実証実験

ア) AIフルデマンド交通の導入

- ・路線バスが廃止や減便を受け、交通不便となった地域等で、AIフルデマンド交通を導入する。
- ・導入に向けては、地域住民とのワークショップ等を開催することで、地域住民の意見を取り入れていく。
- ・実証実験の利用状況や費用対効果を検証し、本格導入に向けた検討を行う。

イ) 地域コミュニティバスの福井駅延伸

- ・路線バスの減便により日中に交通空白時間帯が生じた地域において、地域コミュニティバスを福井駅まで乗り入れる実証実験を行う。
- ・実証実験の利用状況や費用対効果、路線バスへの影響を検証し、路線バス復便の必要性について検討する。

(4) 委託業者について

プロポーザル方式により、委託業者を選定

【選定委員メンバー案】

学識経験者、住民または利用者の代表、交通事業者、福井市

(5) スケジュール

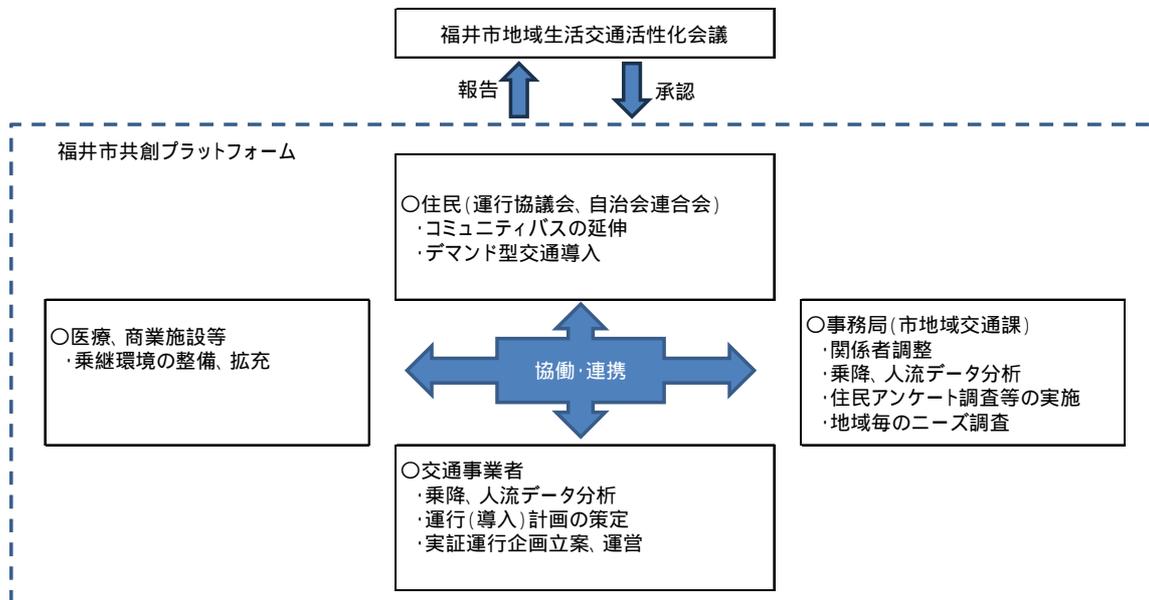
R7.3～4月頃 事業者の公募

R7.4～5月頃 プロポーザル審査会の実施

R7.7～8月頃 委託事業者と契約締結

(6) 実施体制(案)

AIフルデマンド交通の導入に向けた検討を行う場として、協議の場である福井市地域生活交通活性化会議とは別に、関係機関等と協働・連携した共創プラットフォームを設置し、実証実験を行う。



福井市共創プラットフォームメンバー(案)	
自治会連合会	交通事業者
地域コミュニティバス運行協議会	医療施設
商業施設	行政(中部運輸局、県、市、町)